

# 生産性向上と安全対策

## 技術品質委員会が見学会

### オガワエコノス、日本製紙を訪問

（一社）日本 R P F 工業会（長田和志会長）の技術品質委員会（海田周治委員長）は9月27日と28日、第4回見学会を開催し、オガワエコノス鶴飼工場・本山工場、日本製紙岩国工場を見学した。合計69人が参加した。

の生産者は森林管理・経営を証明する第三者による独立監査を受けているという。

つ。持続可能な森林管理などにも力を入れており、S F I（持続可能な森林イニシアチブ）、S F C（森林管理協議会）、P E F C（森林認証保証のためのプログラム）などの認定を得ており、独自のトラック・アンドトレースシステムにより、高いトレーサビリティを持つ。同社営業マーケティング担当上席副社長のトーマス・メス氏は「日本の P I T は安定した魅力ある市場と言える」と述べ、高品質の製品とコンプライアンスに基づいたサービスを安定的に提供できる点を強調した。

見学会は、会員間の情報共有を図り、業界全体の発展につなげるのが目的。

27日は、オガワエコノスの鶴飼工場と本山工場を見学した。鶴飼工場では、R P F 製造、圧縮古紙、容器包装選

別の紹介を受けた。参加者からは、「R P F の成形機の負荷状態を確認できる大型の表示盤を利用した生産性の向上や、破砕機に入る際の安全の取り組みなど、現場ならではの改善事例は非常に参考になる」との声があがった。本山工場では、一般廃棄物の資源選別や食品残さ利用による堆肥製造、家電解体、P E T ボトル選別、新焼却炉を見学した。

28日は、日本製紙岩国工場を訪問し、R P F などが利用される燃料受入設備、N 9 B ボイラや最先端の9号マシンを見学した。大型設備が高速で稼働している様子と作業員の努

力を含め、日本製紙の「西の横綱」と言われていることを実感した。国内に4工場しかないチップ船が

中古機のことなら  
ご相談ください!!  
プラントシステム 中古環境機器.jp  
0120-931-410 プラントシステム

E N V I V A 社は国内に多数の製造工場を持ち、年間230万



オガワエコノス(左)と日本製紙岩国工場(右)を見学



廃棄物のご相談 何でも承ります。  
121 品目 処理可能  
お問合せ先 053-447-4640  
http://taiyo-ser.com

世の中カバ利になればなるほど新たな問題が発生する。最近話題となっているのが「デジタル遺産」だ。物が残らないという意味で便利なデジタルデータが問題となるのはどういうことなのだろうか。パソコンやスマホ、タブレットなどの情報端末が子どもから高齢者まで幅広く使用されるようになり、写真・音楽の管理や金融取引などを情報端末で扱うケースも増えている

## 象万羅森

▼従来の問題となっていたのは、故人の所有物の処分についてだった。近年では遺品整理を行う事業者が増え、一廃としてどう扱うかが問題となっている

直接接岸できる港（C）パスも持っており、参加者はチップを搬送している模様も見るこ

▼デジタルデータは物がないため処分が簡単だと思われがちだが意外とそうでもない。クラウドを活用した音楽や写真の管理やネット経由の金融取引などはサービスの利用時にパスワードやIDの設定が必要のため、残された家族が取り扱えないことがあるという。さらに故人が有料サービス

の処分についてだった。近年では遺品整理を行う事業者が増え、一廃としてどう扱うかが問題となっている

# 破砕と選別の常識が変わる。

制御技術の進化で、電力のムダをふり落とせ  
FLH型 省エネ振動ふるい

特許申請中 [処理対象物] ●砕石

優遇税制対象製品(先端設備) ※生産性向上設備投資促進税制

タフさが魅力の「ギンキの振動ふるい」。発売から50年余りで実績10,000台以上のベストセ